

過小校の部活動への対応について

現状と課題

- ①クラブ数が多い学校と少ない学校で約2倍差がある。
- ②過小校は先生の数が少なく、顧問のなり手がない。
- ③顧問であった先生の転勤によりクラブが消滅。



委員会での沢田の提言(令和2年3月文教市民予算分科会)

- ①複数校合同部活動の拡大。
- ②部活動指導員制度の導入。
- ③スポーツ推進基金を活用し、女子サッカー南部拠点校の創設。柔道・剣道以外にも拠点校の設置を。

今後の方向性

吹田市は学校の適正規模について考え方を整理するため、「吹田市立学校規模等検討委員会」を立ち上げる予定です。

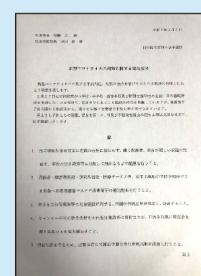
過小校でクラブ活動をする場合、複数のクラブから選択できる機会が失われる可能性が高いので、その辺りの視点も含めて検討するよう意見しました。

新型コロナウイルス対策について

(最新情報は、市のHPやSNSをご覧ください)

自由民主党糸の会として緊急要望 (3月2日、市長と教育長に要望)

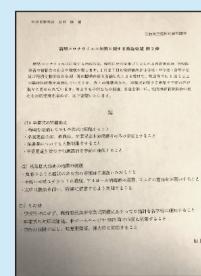
- 留守家庭児童育成室に在籍の有無に関わらず、働く保護者、保育が難しい家庭の児童を、学校の空き教室等に分散して預かるなどの配慮を行うこと。**概ね実施!**
- 高齢者・障害者施設・訪問系福祉・医療サービス等、疫学上感染の予防が期待できる対象へ災害用備蓄マスクや消毒剤等の優先配布を行うこと。**実施!**
- 私立を含む保育園等の児童施設に対する、休園の判断基準を策定し、公表すること。**実施!**
- キャンセル不可の給食食材を市内福祉施設等に寄付または、市民を対象に即売会を開き食品ロスを極力減らすこと。**一部実施!**
- 市民生活を守るために、必要に応じて補正予算を含む財政出動を迅速に行うこと。**実施!**



小中学校卒業式についての緊急要望 (3月3日、教育長に要望)

(1) 卒業式の開催形式

- 時間を短縮しても卒業式は開催すること。**実施!**
- 卒業児生徒、教職員、卒業児生徒保護者のみの参加とすること。**実施!**
- 保護者についても人数制限をすること。**実施!**
- 卒業児生徒の予行練習日を事前に確保すること。**実施されず**



(2) 感染拡大防止の措置の徹底 **全て実施!**

(3) その他

- 教育委員会が卒業式開催にあたっての指針を各学校に通知すること。**実施!**
- 卒業式の対応決定後、市ホームページやSNS等で市民に周知すること。**実施!**
- 学校の規模に応じ、時差開催等、弾力的に対応すること。**一部実施!**

文教市民予算分科会での要望

- 卒業生以外の児童生徒が令和元年度未受講分の授業を、令和2年度に、夏休みを短縮したり、土曜日に授業を行ったりすることで補うべき

→教育委員会答弁 **何らかの形で実施予定**

自由民主党

糸の会通信

～誇れる吹田を次世代へ～



吹田市議会議員 沢田なおきの議会活動

今号のTOPIC

- 吹田まつりの存続について《続報》
- 自治会加入促進について
- ふるさと納税返戻品送付実施について
- 過小校の部活動への対応について
- 新型コロナウイルス対策について

令和2年
春号
Vol.20

令和2年度当初予算

→ 一般会計…約1,350億 ● 特別会計…約710億
水道会計…約150億 ● 下水道会計…約150億

令和2年度当初予算の主な取り組み

(2月定例会令和2年2月20日～3月23日まで開催)

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------|-------------|
| ●吹田市制80周年記念事業等関連予算 | 約4,870万円 | |
| (吹田市出身の葉加瀬太郎氏に楽曲作成依頼・コンサート開催・記念式典等) | | |
| ●英語教育推進事業 | 約3,132万円 | |
| (小中学校における英語指導助手の増員等) | ●小中学校過大校対策 | 約19億8,629万円 |
| | (児童数増に対応するための校舎の増築等) | |
| ●中核市移行関連 | 約6億3,527万円 | |
| (保健所運営、広告物規制、産業廃棄物許認可等) | ●子ども医療費助成拡充 | 約1億5,232万円 |
| | (18歳の年齢到達年度末まで) | |
| ●インフルエンザ予防接種助成 | 約5,180万円 | |
| (中学校3年生のみ2,000円助成) | ●母子健診拡充 | 約5,592万円 |
| | (妊婦健診の公費負担増格、新生児聴覚検査) | |
| ●休日急病診療所移転 | 約1億411万円 | |
| (出口町から青山台に移転) | | |

吹田市議会議員(2期) 沢田なおき プロフィール

S52年5月29日 会社員の長男として生まれる／末広町在住／2児のパパ

玉川学園幼稚園→東山田小学校→千里丘中学校→大阪学院高校→ロンドン留学2年半→関西学院大学法學部政治学科卒→関西学院大学経営戦略研究科企業経営戦略コース(自治体経営専攻)入学→民間企業勤務を経て、議員秘書、予備自衛官

趣味 サッカー、ジョギング(フルマラソン3時間54分)、旅行(海外23か国・地域訪問)、読書(歴史・政治経済)

家族構成 妻、長男4歳、長女3歳

所属委員会 文教市民常任委員会 委員／北大阪健康医療都市(健都)のまちづくり等検討委員会 委員長



吹田まつりの存続について

これまでの経緯①

吹田まつり3会場(JR吹田駅周辺・千里南公園・江坂公園)を来年以降は、
➡「万博記念公園に集約」し、すいたフェスタ2020開催へ。(昨年6月、吹田まつり実行委員会発表)

市のこれまでの説明

万博記念公園に集約する理由① 熱中症対策

→例年、吹田まつりは7月末から8月初旬に開催。

新しい『すいたフェスタ』も令和2年7月23日開催予定とのことで、理由にならない。

万博記念公園に集約する理由② 担い手不足

→自治会関係者に依頼していた警備等ボランティアが高齢化などにより確保できないとのことだが、万博の入場料とバス増便に最低300万円以上の予算をつぎ込むのなら、アウトソーシング等で対応できたのでは?

問題点① 吹田市民の万博記念公園の入場料は当日無料だが、**約300万円を市が負担**。

問題点② JR吹田北口より万博会場へのバスを大幅に増便。**採算が合わない場合、市が補填**。

問題点③ これまで、3会場合計の入場者は約5万人。新しい祭りへの**予想入場者は約1~2万人と大幅減**。

問題点④ 事前アンケートで、**市民の約7割**が祭りの場所等は**現状維持**を望む。

問題点⑤ 結局、旧3会場でも何らかのイベントを実施することで、**予算が肥大化**。(1,260万円(R1)⇒2,960万円(R2))

これまでの経緯②

令和元年11月

JR以南地域を中心に活動している超党派議員5名で、「地車の伝統文化を守り地域振興を図る議員連盟」(通称 だんじり議連)を発足。(沢田が会長を拝命)

『吹田まつり』が万博記念公園に集約されることで、地車の唯一の曳行の機会と、毎年、吹田会場(本祭り)だけで約25,000人が来場する地域活性化の機会の両方が失われようとしている中、それだけは避けようと、思いを共有した5名の議員が**党派の垣根を越えて結集し**、市長、副市長、関係理事者に、**支援の継続を要望**。

令和元年12月

上記、要望に沿って、11月定例会で沢田が個人質問。「(仮称)吹田だんじり祭り」への道路許可等の警察協議への協力、財政的な協力、来年以降の協力についても答弁を引き出す。

(↑問題点⑤の令和2年度予算2,960万円の内の500万円はJR吹田駅周辺開催予定の新しいイベントへ)

令和2年1月以降

栄通り、錦通り、旭通、片山商店街の4商店街が「(仮称)地域活性化イベント準備委員会」結成。さらに、だんじり活性化連絡会とだんじり議連も「(仮称)吹田だんじり祭り準備委員会」結成。

令和2年2月~3月

吹田市議会2月度定例会での沢田の個人質問、同文教市民予算分科会での質問により、問題点①~④が判明



今後の展開

令和2年3月25日、2つの準備委員会が協力し、旧吹田まつりに代わる新たなイベント実施に向けた新しい実行委員会、「**吹田にぎわい祭り実行委員会**」が結成されました。

令和2年10月開催に向けて、JR吹田周辺地域が総力を結集し、準備を加速させています。
(オータムフェスタと同時開催予定)

市政相談受付中! メール、電話、SNS又は連絡事務所、会派控室まで、お気軽にご相談ください。

連絡用メール naokisawada2002@gmail.com 連絡事務所 〒564-0022 吹田市末広町2-9

自民党控室 TEL06-6337-6851 FAX06-6337-6852 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 吹田市役所中層棟3階

自治会への加入促進について

市の方向性

今後、単一自治会開催のお祭り等を開催する際に、自治会加入促進活動をする場合、経費の一部を補助
(上限5万円で予算額117万円)

[市の目標] 令和10年度までに加入率60%。現在は年々低下し、約48%



沢田の意見・提案 (令和2年2月定例会個人質問)

予算額も小出しで、大きな効果は期待できないので、個人質問で加入促進プランを提案
①ゴミ袋に(仮称)地域スポンサー制度^{※1}を導入し、経費を削減した上で、植物由来の環境に配慮したプラスチックを使用したごみ袋を指定ごみ袋として**自治会加入者に配付**

※1:各ブロックまたは連合自治会ごとにスポンサーを募集し、ゴミ袋に広告を掲載することで経費削減。環境にも配慮することで、企業のCSRにもなり得る

②自治会加入者にはカードを発行し、カードを見せれば市内飲食店等で何らかの特典が受けられる仕組みの構築等、**自治会の自助努力に対する支援**

③吹田市高齢者クラブ(以下、吹高連)と連携し、**自治会と吹高連を相互に宣伝**

④各連合自治会を受け皿とし、自治会に加入している**未就学児等のお子さん**のいる**子育て世代を対象とした福祉バス**の実施。

⑤市HPの自治会ページを充実させて、連合自治会だけでなく単一自治会の対象エリアを示し、各自治会のイベントなどのリンクを張るなどして、入りたい人や興味がある人が必要な情報をアクセスできるようにすべき。**早期実施を明言(市民部長)**

⑥吹高連に限らず、補助金等の申請や報告事務手続きが煩雑なため、それが面倒で会長のなり手がない
→団体がなくなる→会員の減少という構図があるため、**事務手続の簡素化**を要望。

ふるさと納税返戻品送付実施について

(予算9,500万円。初年度の寄付見込み→約1億8,000万円)

これまでの経緯①

新たな市の財源捻出手段として、市内を中心とした個人、団体、企業等の目的をかなえるお手伝いをする手法として、**ふるさと納税やふるさと納税型クラウドファンディング等の導入を再三提案**
(平成30年2月自民党代表質問等)



市長の見解

- ①税金の取り合いになっている
- ②都市が地方を支えるという意味では、本来の目的が少し歪んでいる。
- ③日本全体のことを考えたときに簡単にその手法をとれない。

大幅な税収減の実態

吹田市民22,887名が計30億5,395万円のふるさと納税制度を利用(H31)により、吹田市の税収は**12億4,140万円減**。

今後の展開

このような状況から、市長もやっと重い腰をあげましたが、今後は一般的なふるさと納税だけでなく、**起業の支援や市民活動を支援するふるさと納税型クラウドファンディングに力を入れるよう要望**しました。また、吹田市が誇るガンバ大阪のユニフォームや市立吹田サッカースタジアムのVIPルーム、国循の高度循環器ドックを返戻品の対象にすることも可能とのことですので、是非、友人知人に広めていただければと思います。